

チョウセンハマグリ



- ・ 外海に面した砂浜海岸に生息し、県内では九十九里では貝桁網（小型機船底びき網漁業）、鋤簾（じょれん）により、鴨川ではろくろ曳き（人力による底びき網）により漁獲される。
- ・ 1歳で殻長約1cm、2歳で3~4cm（7~16g）に成長し、3歳で5~6cm（31~54g）となる。
- ・ 寿命は10年以上で10cm（250g）を超えるものも漁獲される。
- ・ 産卵期は6~9月。

資源評価

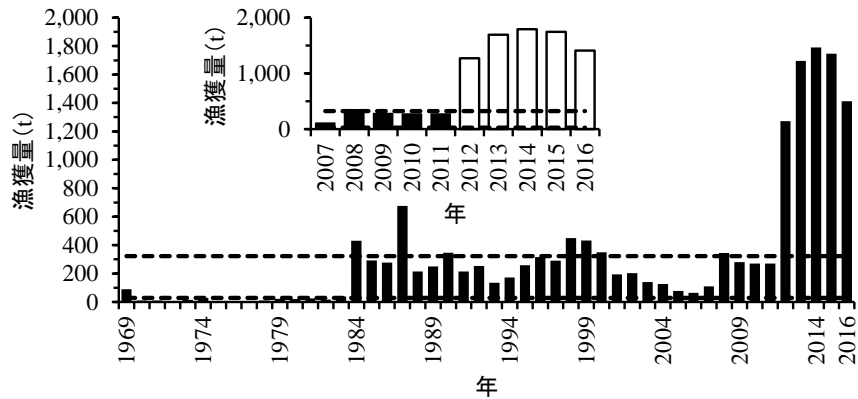
水準：高位



動向：横ばい



漁獲量



チョウセンハマグリ漁獲量の経年変化

(2006年まで千葉農林水産統計年報, 2007年から千葉県調べ)

- ・ 1969~1983年は低位で推移していたが、1984年以降は70~660tで増減を繰り返し、2012年以降1,000t以上の漁獲が続いている。
- ・ 2012年以降は、2009年生まれの卓越年級群の加入により漁獲が増加したと考えられる。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値（漁獲量）から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び資源動向は、漁獲量の推移で判断した。
- ・ 2016年の資源水準は高位、最近5年間の資源動向は横ばい。

資源管理の取り組み

- ・ 千葉県海面漁業調整規則で漁具の目合、殻長制限（3cm以下のものは採捕してはならない）、小型機船底びき網漁業の許可方針で使用漁船のトン数などが定められている。
- ・ 資源保護区域の設定に加え、貝桁網漁業では操業隻数・日数の制限、漁獲サイズの大型化など、鋤簾漁業では禁漁期の設定など漁業者が自主的な資源管理を実施している。